



2026年5月1日

# 第97回メーデー!

働くものの団結で生活と権利を守り、  
平和と民主主義、中立の日本をめざそう

# 全一般愛知地本

発行

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部 = 煤本國治  
住所: 名古屋市熱田区沢下町9-3  
労働会館本館405



今回のメーデーは、私が参加した中で過去最悪のコンディションでのメーデーとなっていました。

会場は初めてテレビ塔北側の公園で開催され、天気は雨、音響設備は大きな音がだせず何が話されていたのかも全く分からないような状況でした。

デモ行進は雨のため早々と中止が発表され、主催者発表では800人が参加し、全国一般愛知地本としては12名の参加となっています。天気が良ければデモ

行進で春闘、ロシアのウクライナへの侵略戦争、トランプが仕掛ける一方的なイラン攻撃、憲法9条の大きな役割が鮮明となり、平和外交の大切さが浮き彫りになった事等、市民に向けてプラカードや横断幕等が準備もされていましたがアピールできず残念な思いが残ったメーデーでした。  
(記 執行部S)

今回はデコレーション等の審査委員ということで8時30分に会場集合。デコレーション、仮装、横断幕の3つの部門での審査をしました。生憎の雨で、折角作った宣伝物も参加者や沿道の人たちに披露することが出来ませんでした。左下は名古屋大

学職員組合が持ち込んだ”のぼり”です。

(記 執行部U)



## 6年ぶりの現場復帰を実現!

日進市にあるNPO法人愛知シュタイナー学園(フリースクールです)で教員として働いていたM氏は、2021年2月に教員や子ども達への問題行動がある、という理由で解雇されましたが、2023年1月に、解雇は不当という勝利判決を得ました。しかし、学園はM氏に対して、自宅待機・在宅勤務という理不尽な命令を出し、現場復帰を認めませんでした。

判決後約1年間は学園側と本人が話し合いを持ってきましたが、一向に進展しなかったため私たち全国一般に加盟し、2024年6月以降は愛知地本が学園と交渉を重ねてきました。その結果、同年末に学園は臨時総会を開催し、「現場復帰については、できるだけ速やかに且つ適切に相談を行ってまいります。」との決意表明を理事会が出すに至りました。そして、2025年4月の新学期には現場復帰をする、という認識を双方で確認されましたが、現場復帰は実現しませんでした。M氏が現場復帰したら数名の教員が辞めていく、そうすると学園維持ができなくなる、というのが主な理由でした。

そうした経過を踏まえ、膠着状態の打破を目指し、第三者委員会開催申入れ、日本シュタイナー学校協会への働きかけ・等を取り組んできました。

そして、去る3月に開催した10回目の団体交渉において、週3日の現場復帰を4月の一学期から実現し、二学期から完全復帰をする、という内容で合意が成立しました。Mさん、お疲れ様でした。  
(記 執行部)



### 今後の予定

- 5月15日(金) アクリル中労委審問
- 5月23日(土) インターネットが変える民主主義のかたち(講演。名古屋法律事務所友の会主催)
- 5月27日(水) 全労連「春の争議支援総行動」(アクリル本社へ)
- 5月30日(土) 名古屋労連結成大会(労働会館東館ホール)
- 6月12日(金) 地本執行委員会⑧